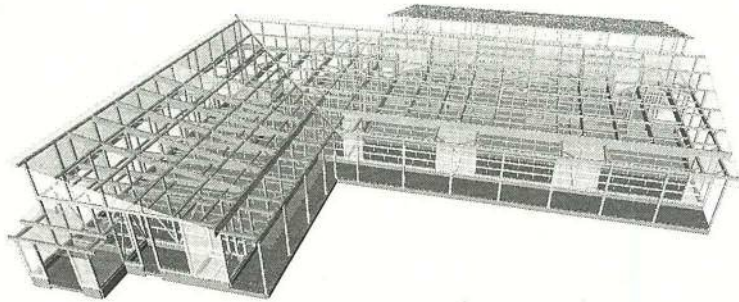


非住宅でもウッドノベーターNEXT活用

基礎設計合理化でコスト削減も

ポラテック



大きな平屋では基礎梁の設置を合理化できる
などコスト的なメリットが出やすい

プでの耐力
を評価し、
地中梁や立
ち上がり
組んできた。

ポラテックでは非住
宅営業のツールとして
も活用できることから

一床面積の
昨午11月に平屋の商業
施設の構造計算にウッ
ドノベーターNEXT

が大きい
梁を施工する必要のな
いことが分かった。か
つ基礎の立ち上がりが

この構造
計算ソフト
はポラスグ
ループのオ
リジナル。

また、3階建て塔屋
付きの商業施設ではS
トープが建設
造で計画されたもの

する注文住
宅、分譲住
宅、狭小地で重機が入
らなかつたため、施工

性の良い木造にできな
いかとの相談を受け
た。重量鉄骨の柱型の
入った図面を基に、平

面プランをほとんど変
えずに鉄骨柱の位置に

幅狭耐力壁「バルテ
ン」を複数枚設置する
ことで構造が成立。さ
らに倒壊シミュレーシ
ョンで接合部補強の必
要性が分かり、金物変
更などで設計変更。木
造1時間耐火構造の4
層の建物として近く着
工する見通しだ。

教会などの大きな吹
き抜けのある建物でも
床を剛床と柔床に分け
て計算できることで、
吹き抜け部分の下階の
筋違にかかる耐力を正
確に計算できた。

これまで9件の物
件でウッドノベーター
NEXTによる構造
計算を行っており、ポ
ラテックのオリジナル

木造多層階の対応、平
面的に大きな物件の基
礎設計の合理化などで
成果が出ている。
同社では非住宅向け
のセミナーなどを通じ
て、ウッドノベーター
NEXTを使った木
造提案を進めていく方
針だ。

ポラテック（埼玉県
越谷市、中内晃次郎社
長）は、昨年11月から
使用して成果を挙げて
いる。特に基礎設計に
耐震的に弱点となる場
所を特定して構造的な
補強を行うなど設計を

算ソフト「ウッドイ
ノベーターNEXT」を
と、さらに倒壊シミュ
レーションまで行い、
有限要素法による構造
計算を行うことでスラ